



2021年2月8日

各位

会社名 アビックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 廣田武仁  
(コード番号：7836)  
問合せ先 取締役副社長 桐原威憲  
(TEL. 045-670-7720)

## 2021年3月期 通期連結業績予想に関するお知らせ

当社は、2020年5月13日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想数値(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,280	10	4	5	0.20
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 2020年3月期	815	△121	△130	△202	△8.21

#### 2. 公表の理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、連結業績に与える影響額を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報に基づき、業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

当社グループの主力事業であるデジタルサイネージ関連事業におきましては、従来の主力業界であるパチンコホール業界の低迷を受け、前期より主力業界変更に取り組んでおります。中でも、代理店による販売強化、Webからの案件流入強化が奏効しており、コロナ禍においても対前年比増収増

益かつ黒字での着地見込みとなりました。加えて、主力業界変更によりバランスの取れた売上構成を実現しております。また、初期段階ではございますが、AIカメラを活用した、IoT×サイネージサービスなど、今後のランニング収益増加につながる新サービスのリリースも行っております。

Value creating 事業については、未だ赤字ではあるものの、売上高は年々増加しております。また、第4四半期会計期間での黒字化も見込まれ、収益事業への転換が目前となっております。

以上のような状況から、売上高で対前年比 57%増となる 1,280 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 5 百万円を見込んでおります。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上